

リスクを知る



避難が必要な場所かどうかをハザードマップで確認



危険な場所にいる人は避難することが原則ですが、安全な場所にいる場合は避難する必要はありません。

洪水・土砂災害ハザードマップには、浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの危険区域を掲載しています。事前に自宅や学校、勤務先など、自分に関係する場所が危険区域に該当しているかを確認し、災害発生時に避難する必要があるかを調べておきましょう。

ハザードマップは、市ホームページでも見ることができます。



市HP

情報を得る



市から配信される情報を確認

市公式LINEやメールマガジンでは、さまざまな情報を発信しています。避難情報など、災害に関する情報もお知らせしているので、ぜひ登録してください。

QRコードを読み取って登録できます

市公式LINE

友だち追加ボタンを押して登録してください
※事前にLINE利用登録が必要



メールマガジン

読み取れない場合は、t-soja@sg-m.jp に空メールを送信し、登録してください



防災サイトで危険を確認

おかやま防災ポータル(岡山県)

県内の雨量や河川水位、河川カメラなどの情報をリアルタイムで確認できます。



おかやま防災ポータル

キキクル(気象庁)

大雨による災害(土砂災害、浸水害、洪水害)の危険度を5段階で表示。防災気象情報発表時に、どこで危険度が高まっているか地図上で確認できます。



キキクル

川の防災情報(国土交通省)

避難の判断材料になる雨や川の状況、ダム放流量などをリアルタイムで配信。河川の監視カメラ映像や水位情報などが確認できます。



川の防災情報

いつ、どこへ逃げるか確認する



さまざまな避難の形を知っておこう

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。ハザードマップなどで安全が確認できれば、自宅や親戚・知人宅、ホテルなどへ避難することも有効です。

自宅の災害リスクや災害発生時にとるべき行動、避難場所について、普段から考えておきましょう。



コロナ禍でも危険が迫れば“迷わず避難”

災害が発生した際は、命を守ることが最優先です。感染症が懸念される場合であっても、危険が迫った際は迷わずに避難してください。

いざという時に備えて、マスクや体温計、消毒液などを入れた災害時非常持ち出し袋を用意しておきましょう。



命を守るために 災害に備える

毎年、大雨や台風により全国的に大きな被害が発生しています。災害への備えを確認しておきましょう。

問い合わせ 危機管理室
(☎) 8599

避難勧告は廃止されました

「避難指示」で必ず避難



5月20日、避難情報に関するガイドラインが改定され、警戒レベル3から5までの避難情報の名称が変更されました。

警戒レベルは5段階あり、レベル1と2は気象庁から発表され、危険が迫る状況を伝えるもの。レベル3以上は市町村が発令し、より切迫した危険を知らせる情報です。

従来の警戒レベル3は「避難準備・高齢者等避難開始」、レベル4は「避難勧告・避難指示(緊急)」でした。今回の改定で、避難勧告・避難準備が廃止され、レベル3が「高齢者等避難」、レベル4が「避難指示」に変更されました。レベル4が発令されれば、全員が危険な場所から避難する必要があります。レベル5は既に災害が発生している状況です。レベル4までに避難できるよう、普段から災害に備えておきましょう。

従来の警戒レベル3は「避難準備・高齢者等避難開始」、レベル4は「避難勧告・避難指示(緊急)」でした。今回の改定で、避難勧告・避難準備が廃止され、レベル3が「高齢者等避難」、レベル4が「避難指示」に変更されました。レベル4が発令されれば、全員が危険な場所から避難する必要があります。レベル5は既に災害が発生している状況です。レベル4までに避難できるよう、普段から災害に備えておきましょう。

警戒レベル	新たな避難情報など	とるべき行動	これまでの避難情報など
5	緊急安全確保	命の危険。直ちに安全確保	災害発生情報
~警戒レベル4までに必ず避難~			
4	避難指示	危険な場所から全員避難	・避難勧告 ・避難指示(緊急)
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者や障がい者などは避難	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報	避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報
1	早期注意情報	最新情報に注意	早期注意情報

警戒レベル5

既に災害が発生している可能性が高い状況です。安全な避難はできず、命が危険な状態にあります。

直ちに身の安全を確保してください。

警戒レベル4

避難指示が発令される段階です。発令されれば、危険な場所から全員が避難しましょう。

どのような避難場所が付近にあるのか、普段から確認しておくようにしましょう。

警戒レベル3

高齢者や障がいのある人など、避難に時間がかかる人は避難行動を開始しましょう。その他の人も必要に応じて避難準備を行い、危険を感じたら自主的に避難しましょう。